

Press Release

2005 年 12 月 14 日
SENDMAIL 株式会社

送信ドメイン認証対応「ゲートウェイソリューションパッケージ」を提供開始 導入・運用のテンプレートやコンサルティングを無償でパッケージ化

認証結果に基づく柔軟なスパムフィルタリングや
メール転送時の認証書き換え処理、ポート 25 ブロッキングなどを容易に実現

SENDMAIL 株式会社(本社:東京都中央区、社長:小島國照)は、大きく進化しつつあるインターネット電子メール技術を企業メールシステムへシームレスに適用するために、送信ドメイン認証対応ゲートウェイソリューションパッケージを提供開始いたします。

同ゲートウェイソリューションパッケージは、企業や ISP が、送信ドメイン認証(※1)に対応したセキュアなメールネットワークを容易に構築し、効果的に運用できるよう、メールゲートウェイシステム、セキュリティ管理システムに、必要な設定ファイルのテンプレートやコンサルティング(4 日間)(※2)を無償でセットにして提供します。

また、同パッケージは、送信ドメイン認証と同様に、ポート 25 ブロッキング(※3)へ対応するための、Message Submission(587)ポート(※4)や、複数サーバを LDAP で統合する大規模サイト向け SMTP AUTH (※5)の設定も含まれます。

大手 ISP や携帯キャリアでは、送信ドメイン認証やポート 25 ブロッキングの実施が始まっていますが、これらの技術を実際に導入・運用するための技術的なハードルが高いのが実情です。

SENDMAIL は、グローバルおよび日本国内において、早くから送信ドメイン認証の普及に尽力しており、ISP および一般企業からの多くの問い合わせに個別に対応してきました。

そして、今後さらに普及を加速するために、共通で必要となるスクリプトや手順書、効果的に運用するためのベストプラクティスのテンプレートなどを予め用意することで導入企業の便宜を図り、SENDMAIL が提供するメッセージング製品の各機能を有効に活用したセキュアなメールネットワーク構築を促進します。

ゲートウェイソリューションパッケージは、メール配信サーバ「Sendmail Switch」とメールセキュリティ管理の統合プラットフォーム「Sendmail Mailstream Manager」をベースとして、自社サーバを送信ドメイン認証対応させるための SPF レコード(※6)作成などに関するコンサルティング(1,000 アカウント以上ご購入の場合 4 日間無料/それ以外のお客様は別途お見積り)、認証結果に基づき柔軟なスパムフィルタリングを行うためのポリシーテンプレート、送信ドメイン認証に対応しながらメール転送やメーリングリストを利用可能にする書き換え処理などに必要なテンプレート、ポート 25 ブロッキングを実施するための Message Submission(587)ポートおよび SMTP AUTH 設定ファイルなどを提供します。

送信ドメイン認証は、現時点では SenderID(※7)を対象とし、DomainKeys(または DKIM) (※8)も順次サポートする予定です。

ゲートウェイソリューションパッケージは、センドメールの販売パートナーを通じて提供します。

ゲートウェイソリューションパッケージのテンプレートを利用することにより、以下のような設定を容易に行えます。

(1)送信ドメイン認証(SenderID)の結果を加味した柔軟なスパムフィルタリング

- ・認証に失敗したメールを単に受信拒否するだけでなく、ゲートウェイで保留するなど
- ・認証成功メールのホワイトリスト

(2)メール転送時の認証サポート

- ・「MAIL FROM:」の自動書き換え処理
- ・PRA(Purported Responsible Address)ヘッダ自動追加処理
- ・メーリングリスト対応

(3)送信ドメイン認証を利用したエラーメール処理

- ・認証結果によってエラーメールの処理の送受信をコントロール

(4)OPB25 ブロック対応

- ・Message Submission ポート(587)のサポート
- ・複数サーバを LDAP ベースで統合化した SMTP AUTH のサポート

■送信ドメイン認証対応 ゲートウェイソリューションパッケージの提供開始時期と構成

◆提供開始:2005 年 12 月 19 日

◆パッケージ構成

- ◇製品
 - ・Sendmail Switch 3.1
 - ・Sendmail Mailstream Manager 2.2J
 - ・Intelligent Quarantine 3.0 (旧称: Intelligent Inbox)
 - ・Sendmail Directory Server 3.1
- ◇設定ファイルなど・SenderID 処理用ポリシーテンプレート
 - スпамハンドリング処理
 - メール転送処理
 - メーリングリスト対応処理
- ・Message Submission ポート/SMTP AUTH の設定ファイル

◇SPF レコード作成などについてのコンサルティング(4 日間まで無料)

(4 日間の無料コンサルティングは 1,000 アカウント以上のライセンスをご購入のお客様に限定させて頂き、それ以外のお客様は別途お見積りとなります。)

メールセキュリティ管理の統合プラットフォーム「Sendmail Mailstream Manager」は、ウイルス/スパム対策、送信ドメイン認証、情報漏洩防止やコンプライアンスのためのメールポリシー設定・実施機能を統合し、直感的な Web ベースの GUI で、メールシステム全体を一元的に運用・管理可能な環境を提供するミドルウェアです。

Microsoft Exchange や Lotus Notes など既存のメールシステムやグループウェアに容易にアドオンでき、ウイルス/スパム対策では、オプションとして提供されるサードパーティのアンチウイルスフィルタ、またはアンチスパムフィルタも統合して一元管理可能です。

Mailstream Manager は拡張性が高く、高度なメール処理プロセスをプログラミングによりカスタム開発したり、レガシーシステムのデータソースを利用することも可能です。

また、将来の新しい脅威やテクノロジーにも対応可能な、拡張性と柔軟性の高いプラットフォームです。

※1 ※7 ※8 送信ドメイン認証 (Sender Authentication)

メールを受信したメールサーバが、送信元のメールサーバが、そのメールの送信元ドメインの正規のメールサーバであるかどうかを認証する。送信元ドメイン認証を行うことで、メールを受信したメールサーバが、送信元メールアドレスのドメイン名部分の偽造をチェックすることができるため、迷惑メールかどうかを判断しやすくなる。海外および日本の大手 ISP も対応を開始している。

送信ドメイン認証の方法は、主なものとして、IP アドレスを使う「SenderID」と、電子署名を使う「DomainKeys」がある。また、DomainKeys は、「Internet Identified Mail」(シスコが提唱)の技術を取り入れて「DKIM」(DomainKeys Identified Mail)として仕様が策定されている。

※2 4 日間の無料コンサルティングは 1,000 アカウント以上のライセンスをご購入のお客様に限定させて頂き、それ以外のお客様は別途お見積りとなります。

※3 ポート 25 ブロッキング (Outbound Port 25 Blocking:OP25B)

メールを送信する時に SMTP(メール配送手順)で相手のサーバにつながる際の TCP/IP のポートである 25 番ポートをふさぎ外向きトラフィックを遮断することにより、そのネットワーク内から直接外部にメールを送れなくする。迷惑メールの送信者や、その踏み台になっている“ボットネット”などは、ISP のメールサーバを中継せず直接メールを送信するため、ポート 25 ブロッキングは、自社のネットワークから迷惑メールを送信しないための対策として効果があると考えられ、米国の ISP を中心に実施されており、日本でも最近、大手 ISP や携帯キャリアが実施している。

※4 ※5 Message Submission(587)ポート/ SMTP AUTH(SMTP Authentication)

メールクライアントからのメール送信時に 587 番ポートを利用してメール送信する方法。従来メールソフトからのメール送信は 25 番ポートを利用しているが、OP25B による迷惑メール対策で 25 番ポートを禁止した場合、587 番ポートへメールソフトの設定を変更する。

また、587 番ポートを利用するためのID・パスワード認証として SMTP AUTH が必須となる。SMTP AUTH は、メール送信の際に SMTP サーバとクライアント間でユーザアカウントとパスワードの認証を行い、認証された場合のみメールの送信を許可する。

※6 SPF レコード(Sender Policy Framework)

ネームサーバに登録されるメールを送信するサーバの IP アドレスを含む情報。SenderID では、この SPF レコードを DNS サーバに公開しておき、そのメールが本来送信されるサーバであるかどうかや、フィッシングメールかどうかなどを判断する。

■センドメール販売パートナー

株式会社エイ・エヌ・ティ	http://www.ant.co.jp/
NEC ソフト株式会社	http://www.necsoft.com/
東芝 IT ソリューション株式会社	http://www.toshiba-sol.co.jp/
日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社	http://hitachisoft.jp/
株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ	http://www.ssl.fujitsu.com/
株式会社 IRI コミュニケーションズ	http://www.iri-com.co.jp/

■Sendmail 社について

<http://www.sendmail.com/> <http://www.sendmail.com/jp/>

Sendmail 社(Sendmail,Inc. 本社：カリフォルニア州エメリビル)は、オープンソースのメール配送エージェント(MTA：Mail Transfer Agent)である「sendmail」の開発者であり、“Eメールの生みの親”と言われているエリック・オールマン(現 CSO)により、ビジネスユーザのニーズに対応するために1998年に設立されました。現在は、スパム/ウィルス対策、トラフィック制御、コンプライアンス遵守のためのメールアーカイブなどの各種ソリューションを含め、ゲートウェイからメールボックスまで、信頼性の高いメッセージング基盤構築のための製品・技術サポートをトータルに提供しています。Fortune10の内7社、Fortune100の50%がSendmail社の商用製品を採用し、日本国内でも、官庁、自治体、企業、大規模ISPで3万ライセンス以上の出荷実績があります。英国、ドイツ、フランス、および東京(アジア太平洋地域)に拠点を擁し、日本法人は、2003年1月に設立されました。

報道関係者お問い合わせ

センドメール株式会社 担当：末政

TEL：03-5537-0367 FAX：03-5537-0376 marketing-japan@sendmail.com

Sendmail は、Sendmail, Inc.の登録商標です。その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標です。